

防災学術連携体が1月発足

47学会でネットワーク

来年12月にシンポ開催

自然災害の軽減に向け、関係する47学会が結集する「防災学術連携体」が来年1月9日に発足する。日本学術会議と連携。

各学会が平時から連携を図るとともに、緊急事態に備えたネットワークを構築する。防災・減災に關して学会が集結するのは初めて。

事務局は来年1月から18年3月までを土木学会、18年4月から20年3月までを建築学会が担当する。準備会の代表幹事は和田章東工大名誉教授、事務局長は米田雅子慶大特任教授が務める。来年12月にはシンポジウムの開催も計画している。

構成学会は次の通り。
▽安全工学会▽横断型

- ▽基礎科学技術研究団体連合会▽環境システム計測制御学会▽空気調和・衛生工学会▽計測自動制御学会▽こども環境学会▽砂防学会▽地域安全学会▽地理情報システム学会▽地盤工学会▽土木学会▽日本応用地質学会▽日本海洋学会▽日本火災学会▽日本火山学会▽日本風工学会▽日本活断層学会▽日本機械学会▽日本気象学会▽日本救急医学会▽日本計画行政学会▽日本建築学会▽日本原子力学会▽日本古生物学会▽日本コンクリート工学会▽日本災害看護学会▽日本災害情報学会▽日本災害復興学会▽日本自然災害学会▽日本集団災害医学学会▽日本森林学会▽日本地震学会▽日本地震工

- 学会▽日本地すべり学会▽日本自治体危機管理学会▽日本造園学会▽日本地圏学会▽日本地理学会▽日本都市計画学会
- ▽日本水環境学会▽日本ロボット学会▽農業農村工学学会▽廃棄物資源循環学会。